



にこにこだより

令和元年 9 月

社会福祉法人東京児童協会 船堀中央保育園

〒134-0091 江戸川区船堀 2-23-10

TEL 3680-1441 FAX 3680-1618

先日は、年1度の引き取り訓練に参加いただきありがとうございました。毎年、この訓練には職員も真剣に取り組み、法人全体でも引き取り訓練後に研修を行い子どもの命を守ることにについて考える日となっています。予測できない災害に備えて、毎月、地震・火災・防犯・消火・通報訓練など様々な災害をシュミレーションし、子ども達の安全が守れるように訓練しています。また、職員は春から夏にかけて職員全員が上級救命・普通救命救急講習を受けました。講習を受けただけで終わらず、忘れないように定期的に園内研修でAEDや心肺蘇生なども行っています。子ども達には、「ダンゴ虫ポーズ」と頭を抱える身の守り方や「おさない、かけない、しゃべらない、もたない、もどらない」(お・か・し・も・も)の約束事を話し合うなどの防災教育を実践しています。子どもたちにも毎月の訓練を重ね、幼児クラスになると家にいるときに地震があるとすばやく机の下に身を隠しているという声を聞きうれしく思います。ご家庭でも是非防災について話し合い、防災用品等の確認をするなどの良い機会にしてください。

今年も7月29日～8月9日まで卒園児交流として1年生から6年生まで58名の子どもたちが戻ってきました。小さい子のお世話をして「自分になつてくれたことがうれしかった。」「あひる組さんは小さいので泣いてしまい大変でした。けれど、笑顔がとってもかわいかったです。」「うさぎ組で靴下をはかせたことがうれしかった」など掃除や昼寝の手伝いは大変だったようですが、自分の役割を果たし、役に立つことの喜びと達成感は子どもたちとの会話の中で感じられました。

また、卒園児で高校生の男の子が夏休みにボランティアに来ました。保育園の時から、お世話が好きで下の子どもたちに人気者でした。一人っ子で異年齢児の子と関わる機会は保育園だけだったようですが、この保育園の頃に人の役に立つことの喜びを感じ、大人に認められた経験から保育士も一つの夢だそうです。そのように成長をした子どもたちからの言葉をもらおうと関わっていた職員は嬉しい気持ちになりました。職員に一人ひとりが子どもたちの「人的環境」になっているということを改めて考える機会となりました。





9月の保育



<目標>

- ・夏の疲れに留意し、休息を取りながら安定した生活リズムの中で健康に過ごす。
- ・保育者等や他児と関わりの中で、指差しや少しずつ喃語を使う事を楽しむ。

<先月の子どもの姿>

天気の良い日にはベランダで沐浴をしたり、寒天や氷を使ったりして感触遊びを行いました。沐浴ではすっかり水にも慣れ、水面を叩いて水しぶきを上げたり、ジョウロに水を入れて水が流れる様子を楽しんだりしました。また感触遊びでは初めはじーっと観察したり、なかなか触る事の出来ない姿が見られましたが、少し慣れてくると指でツンツンと触ってみたり寒天の入ったバケツに手を入れて感触を楽しんだり、氷の冷たい感触に笑顔を見せ合う姿が見られました。



<お楽しみ>

- ・机上でシール貼りやなぐり描き、秋の制作をしよう。
- ・涼しい日には戸外に出て、沢山身体を動かそう

(記：田島 優花)



<目標>

- ・散歩に出かけて秋の発見をしよう。
- ・どんぐりや落ち葉を拾って遊ぼう。



<先月の子どもの姿>

天候の良い日には、水や氷等の感触遊びを行いました。園庭にある水路では、上から滝の様に水が流れてくると「すごい」「みずきたよ」と嬉しそうな笑顔を見せ喜び、水路に足を入れると「つめたーい」と裸足で泥や水の感触を楽しんでいます。また、ひよこ組や幼児クラスのお友達と一緒にレインボーテラスで水遊びを行い、異年齢児と沢山関わる事が出来ました。年上の子の遊びを観察して、スコップで水をすくい水車に掛けたり、水鉄砲の中に水を入れたりして真似て遊ぶ姿が見られました。氷遊びでは、氷を触ると「つめたい」「こおり」と嬉しそうに手に取り、お友達や保育士等と一緒に笑顔で感触を楽しんでいました。制作では、シール貼りをして魚を作りました。「ぺったん」と貼り付けを楽しみ、完成すると「みて！」と得意気に見せてくれる姿が可愛らしかったです。

<お楽しみ>

- ・散歩に出かけて秋の発見をしよう。
- ・どんぐりや落ち葉を拾って遊ぼう。

(記：北園 栄美子)



<目標>

- ・保育士等に手伝ってもらいながら、着替えや身の回りの事を少しずつ自分でする。
- ・散歩先やホールスペースで体を動かし、運動遊びを楽しむ。

<先月の子どもの姿>

レインボーテラスではプールに入って元気良く過ごしています。「いくよ！ばしゃ！」等と言いながらお友達と水を掛け合ったり、コップやスコップ等の様々な玩具を使って水の感触を味わったりと暑さに負けずに遊んでいますよ！室内では、サーキット遊びをしています。初めは巧技台ジャンプを怖がる姿がありましたが後半になると保育士の補助なしでジャンプする事が出来ました。又、力一杯に鉄棒を握ってぶら下がったり一本橋でバランスを取ったりと室内でも体を沢山動かしました。



<お楽しみ>

- ・お散歩に出掛け、どんぐり拾いをして秋の自然に触れよう！
- ・季節の制作や体操を楽しもう！

(記：関野 太靖)

- <目標>
- ・身の回りの物の管理を自分で行う。
 - ・友達と一緒に身体を動かして遊ぶ事を楽しむ。

<先月の子どもの姿>

○花組

「きょうはおおきいぷーる？」「みずあそびできる？」と毎日心待ちにしていた花組。プール活動がある事を知らせると「やったー！」と大喜びで着替えや準備をしていました。プールの中ではバタ足や“ワニ歩き”に挑戦し、友達と一緒に泳ぐ事を楽しんでいました。室内ではフィンガーペイントで滲み絵をし、かき氷作りをしています。完成すると「あまいね！」と嬉しそうに食べる真似をし、ごっこ遊びを楽しんでいます。

○星組

プール活動が始まると「きょうはかおつけてみよう！」「ばたあしですすめたよ！」と水の中に顔を付けたり、バタ足で泳いだりする事を楽しんでいました。終わった後には「ぷーるあらってあげる！」と片付けの手伝いをしてくれる優しいお兄さんお姉さんです。室内ではおばけの制作をしています。「ひとつめおばけ、こわいよ～」「ちょうちんおばけだよ～」等と様々な物を表現する事を楽しんでいましたよ。

○月組

造形では、フィンガーペインティングでトータムポール作りをしました。両手に沢山の絵の具を付け、「つめたくてきもちいいね！」「いろがまざったよ！」等と表現する事を楽しんでいました。完成した作品を皆で積み上げ、天井まで届くと「たかいね！」「みんなでがんばったね」ととても嬉しそうな笑顔を見せてくれました。

また、お昼寝前の長編の物語の読み聞かせを楽しみにしている子ども達は「きのうのおはなしは〇〇だったよね！」「つづきがたのしみだね！」と毎日心待ちに聞いていますよ。

- <お楽しみ>
- ・ボディーペインティングを楽しもう！
 - ・散歩に出かけ、季節の変化を感じよう。
 - ・保育園におじいちゃん・おばあちゃんを招待しよう。(月組：お招き会)



<お願い>

- ・持ち物には全て記名をして下さい。
- ・9月にボディーペインティングを行う為、汚れても良い衣服(上下、パンツ)一式を袋に入れ、お仕度棚に入れておいてください。
- ・星組のクッキングが始まります。懇談会でお伝えしておりますエプロンの準備をお願いします。準備が出来ましたら、透明カゴの中に入れておいて下さいます様よろしくをお願いします。(記：季武 宏枝)

☆9月の行事予定☆

- 4日 避難訓練、らっこ広場 5、19日 0歳児健診
9日 身体測定(3・4・5歳)
10日 身体測定(0・1・2歳) 11日 造形(5歳)
13日 お招き会(5歳) 17日 英語(3・4・5歳)
18日 スポーツ教室(5歳)
19日 誕生会「どうぞのいす」 20日 ゆりーと
25日 体育指導(3・4・5歳)
26日 いのちキラキラ(5歳)
27日 乳児懇談会

☆お知らせ☆

- ・4～11日実習生1名、5～6日実習生が2名入ります。
- ・26日(木)は法人の看護師による「いのちキラキラ」があり、子ども達に命の大切さを伝えていきます。お時間がありましたら保護者の方もご参加下さい。ご希望の方は職員まで声を掛けて下さい。
- ・27日(金)は乳児懇談会となります。詳細は後日掲示にてお知らせいたします。
- ・10/25は法人内年長児相撲大会です。詳細は掲示、年長児のご家庭には手紙にてお知らせいたします。

【保健】



9月9日何の日？



知っていますか?? こども医療電話相談事業【#8000事業】

☆保護者の方が、休日・夜間の子どもの症状にどの様に対応したら良いのか、病院を受診した方がよいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師に電話で相談できるものです。

(厚生労働省ホームページより引用)

《#8000に電話した時の流れ》

- ①どのような症状なのかを伝える。
- ②子どもの年齢、性別、住所等を伝える。
- ③症状の具体的な内容を聞かれるので、聞かれる項目を細かく説明する。
- ④症状に応じた処置方法、様子を見て病院があいてから受診、すぐに夜間診療等の病院に行くように指示、または救急車の要請等の助言をされます。
- ⑤すぐに病院へ行くように判断されると、その時間帯で受け入れてもらえる病院を紹介してくれます。

夜間の急患で困った時は早めに対処できると安心します。



～生活リズムを整えよう～

生活リズムの乱れは、健康に悪影響を及ぼします。この夏で、遅寝遅起きの習慣がついていませんか？朝の生活の見直しから、リズムを取り戻しましょう。

まずは早起き：遅寝を早起きにするのは難しいもの。
まずは遅く寝ても早く起きる習慣をつけましょう。



光を浴びる：起きたら部屋のカーテンを開け、太陽の光を浴びましょう。それによって体内時計がリセットされ、体も脳も目覚めます。

朝食をとる：朝食で胃腸を働かせ、目覚めさせます。



防災の日

9月1日の「防災の日」は、1923年のこの日に起きた関東大震災の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風への心構えの意味も含めて1960年に制定されました。

★保育園では…

災害の備えとして、災害時に必要な物品の点検や全職員、園児による訓練を毎月行っています。また、在園の家庭や地域の方の緊急避難場所としての機能を想定しています。

<防災対策>

- 非常通報 ・学校110番・火災通報機設置
- 防犯 ・防犯カメラ ・玄関オートロック
・園内内線電話・携帯用防犯ベル
- 耐震 ・棚転倒防止 ・ガラス飛散フィルム
- 防火 ・防火扉 ・防災カーテン ・防災じゅうたん
- 備蓄食料 ・3日分の水や食料(右側写真参照)
- その他 ・携帯ラジオ ・避難車 ・発電機等

生活必需品(非常用品)リスト

- ・飲料水(1人1日3リットル)
- ・食料(赤ちゃんがいる場合は粉ミルク)
- ・救急医薬品類(常備薬等も)
- ・予備電池(携帯電話、携帯ラジオ、懐中電灯等)
- ・現金、貴重品
- ・保険証、タオル、ティッシュ、予備メガネ等

※食料及び飲料水は家族全員3日分が必要



幼児一日分の食料の目安例
献立も作成済(3食×3日分)

☆引き取り訓練を終えて

今年も防災の日に伴い8月30日午後3時30分に大規模地震が発生した想定で【引き取り訓練】を実施しました。ご協力ありがとうございました。一年に一度の訓練ですが、心肺蘇生法や防災について考える機会になって頂ければ幸いです。また、災害用伝言ダイヤル[171]を使用しました。今回は防災週間中、8月29日(木)～9月4日(水)の9:00～17:00の間、視聴する事が出来ます。(本来は2日間保存)一度お試しになって頂ければと思います。

① 午後3時30分 : 地震発生～職場を出発

☆安全にお迎えに来られる経路を確認

② 保育園到着: 防災訓練

☆訓練…消火・通報・応急法(心肺蘇生・AED実演)



③引き渡し後: 災害時カードによる引き渡し

☆園児名と続柄を伝え、「災害時カード」を渡す

④ 帰宅

☆保育園～自宅の安全な経路を確認しながら帰宅



◎訓練実施報告

引き取り訓練 参加家庭数: 83 家庭(早退、欠席除く)

防災訓練参加人数: 77名	
消火	17名
応急(AED)	44名
通報	16名

今年度は応急訓練で“心肺蘇生法”と“AEDの使い方”、掲示に江戸川区ハザードマップを用いた“水害の際はどうか”、がれき体験を取り入れました。今後も防災に関する情報提供をしていきますのでご確認ください。

※直下型地震等、実際に震災にあった場合は、最大限にお子様の安全を確保できるように園では努めますので、“帰宅困難”等についても想定し、ご家庭でお迎えのことなどもう一度話し合ってみてはいかがでしょうか。

～十五夜～



今年の十五夜は9月13日(金)です。十五夜は旧暦の8月15日前後の満月の夜のことを言います。また、十五夜は秋の満月を表すだけではなく、豊かに実った穀物や秋の収穫物に感謝する意味もあるため、秋に採れた収穫物として、里芋やさつまいも、旬の果物、お神酒を添えます。

【由来】

十五夜というのは「満月」のことを表します。また、新月から満月になるまで、およそ15日かかるためともいわれています。

【別名】

中秋の名月：秋の真ん中に出る満月からきている

芋の名月：秋に収穫される芋類をお供えし、収穫を感謝する意味がある

【お月見団子とすすきを飾る意味】

お月見団子：収穫された作物(米)で作られ、満月に見立てている。

すすき：収穫予定の稲穂に見立てている。



この頃の秋の空は1年を通して最も澄み渡り、美しい十五夜を見ることができます。ご家庭でも、お月見飾りと綺麗なお月様を楽しんでみて下さい♪



～味噌を食べましょう～



大豆を発酵させて作られる味噌ですが、発酵することで大豆に含まれる少量のアミノ酸やビタミン類が大量につくられ、大豆で摂取するよりも優れた栄養を持ちます。

【栄養成分】

味噌は大豆と麹・塩を原料とし、タンパク質、炭水化物、ビタミン、ミネラル等を豊富に含みます。味噌は発酵していることから、通常の大豆にはない酵母や乳酸菌などの栄養素を含み、更に体内へ栄養を吸収しやすいと言われています。

【おすすめの味噌の使い方】

上記では味噌には栄養素が豊富に含まれていますが、日常生活へ積極的に味噌を取り入れる方法は味噌汁がおすすめです。そして味噌の栄養をしっかりと壊さず摂るためには、加熱しすぎないようにしましょう。味噌は50度以上になると栄養素が破壊されてしまうため、味噌を溶く際は、一度温度を下げるようにしましょう。味噌汁の具にカリウムを多く含む緑黄色野菜や海藻を組み合わせると、塩分を体の外に排出する働きがあり、味噌の塩分が気になる方は具材を工夫しお味噌汁に使ってみましょう。

【味噌が完成しました】

園では、日本古来の調味料「味噌」を特徴にした味噌料理、味噌汁などをたくさん取り入れています。また、春に味噌作りを行い、夏に完成し、子ども達も興味をもち喜んで食べています。今後も味噌の効能なども伝えながらたくさん味噌に親しめる活動を行っていきたいと思います。

お彼岸

秋のお彼岸は秋分の日(9月23日)をはさんで前後3日間です。祝日法により秋分の日は、「祖先を敬い、亡くなった人々をしのぶ日」と定められています。

お彼岸は仏教行事の一つで日本独自の行事です。日本では仏教が広まる前から、お彼岸の時期に祖先や自然に感謝する習慣があります。



9月食育予定

【行事予定】

- ・お月見献立
- ・お彼岸おやつ
- ・誕生会献立

【食育・クッキング・畑】

- ・テーマ野菜の話
- ・お月見団子づくり
- ・おはぎづくり
- ・冬野菜の土づくり

10月食育便り予定

園でのお箸へ移行について紹介する予定です。幼児対象に少しずつ進めていきます。

